

男はつらいよ 純情篇 (1971)

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ

製作国 日本

色彩 Color

時間 90分

初公開日 1971/01/15

公開情報 松竹

【解説】

毎度おなじみ「男はつらいよ」シリーズの第6作。マドンナ役に若尾文子を迎え、山田洋次が脚本（宮崎晃と共同）・監督を務めた。森繁久彌と宮本信子がゲスト出演し、ストーリーに幅を持たせている。

フーテンの寅こと車寅次郎は、冬の五島列島、福江島に来ていた。赤ん坊を連れた出戻りの絹代と、その父の千造との再会を目にした寅次郎は、故郷の柴又が無性に恋しくなってしまう。柴又のとらやに戻った寅次郎だったが、留守中に自分の部屋を誰かに貸していることを知り、カンカンになって家を出ようとした。しかし間借りしていた美人の夕子を見て、旅に出るのをやめてしまった。妹さくらの夫である博から、会社を辞めて独立したいと相談された寅次郎は、社長の梅太郎に話しに行くのだが…。

【クレジット】

監督 山田洋次

製作 小角恒雄

企画 高島幸夫

小林俊一

原作 山田洋次

脚本 山田洋次

宮崎晃

撮影 高羽哲夫

美術 佐藤公信

編集 石井巖

作詞 星野哲郎

作曲 山本直純

音楽 山本直純

唄 渥美清

出演 渥美清 車寅次郎

倍賞千恵子 さくら

若尾文子 明石夕子

森川信 車竜造

三崎千恵子 つね

前田吟 諏訪博

笠智衆 御前様

太宰久雄 梅太郎

佐藤蛾次郎 源公

森繁久弥	千造
宮本信子	その娘絹代
松村達雄	山下医師
垂水悟郎	夕子の夫